

令和7年度 第2回岐阜市男女共同参画推進審議会
議事録

日 時	令和7年12月12日(金) 午後1時30分～2時40分
場 所	岐阜市役所 6階 6-3 会議室
次 第	1. 会長あいさつ 2. 議題 (1)第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版) 評価指標について(中間報告) (2)令和8年度 男女共同参画に関する市民意識調査について 3. 報告 (1)令和7年度岐阜市男女共同参画優良事業者について 4. その他 「みんなにやさしく伝わる広報・出版のヒント」について 優良事業者表彰式の開催について
参 加 者	【審議会委員】 大野正博会長、落合絵美副会長、青山知子委員、小川眞治委員、 栗本貴美子委員、瀬瀬晴美委員、中島由紀子委員、松原孝一委員、 和田玲子委員、服部信夫委員、平田雅嗣委員、春日井恵子委員、栗栖崇委員 【事務局】 (市民協働生活部)熊谷武夫、石神敬文、(市民協働生活部男女共生・生涯学習 推進課)坂井隆介、増田美帆、内田景子、安藤慎
資 料	1 岐阜市男女共同参画推進審議会委員名簿 2-1 第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版) 「評価指標」中間報告(抜粋) 2-2 第3次岐阜市男女共同参画基本計画(改定版) 「評価指標」(令和7年度当初) 3-1 令和8年度岐阜市男女共同参画市民意識調査について 3-2 市民意識調査設問項目について(素案) 3-3 男女共同参画に関する市民意識調査票(素案) 4-1 令和7年度岐阜市男女共同参画優良事業者概要 4-2 令和7年度岐阜市男女共同参画優良事業者—補足資料— 参考資料 1 岐阜市男女共同参画優良事業者表彰要綱 参考資料 2 岐阜市男女共同参画優良事業者表彰これまでの表彰事業者一覧

【会議内容】

1. 会長あいさつ

2. 議題

(1) 第3次岐阜市男女共同参画基本計画（改定版） 評価指標について（中間報告）

事務局 資料2-1、2-2（事務局説明）

委員 社会指標の項目1、DVの相談件数の推移について、令和3年から令和6年にかけて推移が下がってきたことの要因は何か。
もう1点、相談件数の推移も含めて、相談体制で工夫している点は何か。

事務局 DVの相談件数の推移が下がってきていることにつきましては、子ども支援課に確認したところ、一つの要因として、コロナ禍が明けて、社会活動が活発になった結果、外に出る機会が多くなったため、減ったのではないかと考えています。
また、DVに関する相談をする支援機関が増えたこと、メールやチャットの相談ツールが増えたことも相談件数が減った要因と考えています。
相談体制に関して工夫していることにつきましては、当課が所管しておりますあんしんつながりステーションに関しては、いろいろな相談に対応できるように、年に5回ネットワーク会議を開催しております。庁内の関係各課と連携を深めて相談があったときにすぐに繋がれるように、常に連携を強めています。

委員 認知症サポーター養成講座年間受講者数の目標値が令和3年度から令和5年度まで3,200人であったが、令和6年度から2,500人に下げられている。目標値を下げた理由はなぜか。
もう1点、令和7年度に講座に参加された1,472人の男女の比率を教えてください。

事務局 認知症サポーター養成講座の年間受講者数の目標値につきましては、岐阜市高齢者福祉計画を基に記載しております。令和6年度からの計画の数値を設定する際に、その頃はまだコロナ禍ということもあったので、2,500人という目標値になっています。したがって、次の令和9年度からの計画については、現在の状況を見据えて目標値を設定することになると思います。
認知症サポーターの男女比につきましては、令和7年9月30日現在、講座に参加された1,472人の男女の内訳は、男性が582人で、女性が890人となっております。

- 委員 性的少数者に関する講座について、参加人数は何人か。
- 事務局 人権啓発センターの講座に関しましては、1 回目の岐阜聖徳学園大学附属中学校での講座の参加者数は延べ 130 名、2 回目の平成医療短期大学の学生に対しての講座の参加者数は延べ 30 名、3 回目の女性センターが主催しておりますハートフルネットぎふ例会での講座参加者数が 16 名、4 回目の岐阜聖徳学園大学の学生に対しては参加者数 50 名という内訳になっております。
- 委員 母子家庭等自立支援給付金事業の支給件数について、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて支給金額は増えているか。
- 事務局 自立支援教育訓練給付金と高等職業訓練促進給付金という 2 種類の支援金がありますが、自立支援教育訓練給付金に関しては、令和 7 年度は 9 月末時点で 183,196 円となっており、令和 6 年度は 0 円でしたので増えています。
高等職業訓練促進給付金については、令和 7 年度は 9 月末時点で 14,502,000 円となっており、件数が増えている関係で、令和 6 年度に比べると金額も増えています。

(2) 令和 8 年度 男女共同参画に関する市民意識調査について

- 事務局 資料 3-1、3-2、3-3（事務局説明）
- 委員 設問数が前回の 31 問から 34 問と増えているが、平成 28 年度の回答率はどのくらいであったか。また、今回は回答率をどの程度見込んでいるか。
- 事務局 平成 28 年度の調査では、有効回答率は 49.5%でした。
令和 8 年度の調査では、50%の回答率を見込んでいます。
- 委員 問 1 の性別欄について、「1（男性）と 2（女性）のどちらでもない」という選択肢を入れた理由は何か。
問 17 について、今、こども家庭庁が、イクメンから共育(ともいく)に変更しているので、「共に育つ」というワードを入れられてはと思う。
問 20 について、5「学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子などの役割分担意識をなくす。」という選択肢に関して、今も学校教育の現場にこの考えはあるという認識であるのか。
問 25 に、「どこ（だれ）にも相談しなかった人」という選択肢が 2 つあるのはなぜか。
問 32 について、女性センターの場所を知っているかの問いは必要ないか。

- 委員 問 20 の 5 「学級委員などの選出で、会長・委員長は男子、副会長・副委員長は女子などの役割分担意識をなくす。」の選択肢が誘導する形にもなるので、新しい時代に合わせた選択肢がいいと思う。
問 20 の 4 「管理職に女性を増やしていく」にも違和感がある。もし入れるなら、「男女関わらず 1 人 1 人の能力に応じて活躍できる場を作る」や、「そういう活動を増やしていく」というものではないか。
- 事務局 問 1 の性別欄につきましては、LGBTQ の方もみえるので、3 「1 (男性) と 2 (女性) のどちらでもない」を選択肢として入れております。
また、自分の性別について全く回答したくないという方もみえるので、4 「回答をしない」という選択肢も入れております。
問 20 につきましては、学校がどのような状況について、こちらの認識がまだ甘いところがあると思っています。貴重なご意見ありがとうございます。
問 25 につきましては、選択肢が重複しておりましたので、修正します。
その他の意見につきましては、参考にさせていただきます。
- 会長 両委員のご意見も踏まえながら、現状に応じた形で再度質問項目をご検討いただければと思います。
- 委員 問 7 について、3 「介護を受ける人の子どもの妻」となっているが、妻でなくて夫の場合もあるので、「介護を受ける人の子どもの配偶者」の方がいいのではないか。
問 16 「あなたは男性が育児休業をすることについてどう思いますか。」について、育児休業の期間を入れた方が答えやすいのではないか。
- 会長 いずれもご意見ということでお聞きすればよろしかったでしょうか。
- 委員 はい。
- 委員 問 6 の選択肢にある家事労働について、これ以外にも名もなき家事という言葉があるように、多くの家事労働がある。それが女性に偏っていることが多いと思うので、検討していただきたい。
あと、PTA 活動や自治会活動についても加えることを検討していただきたい。
問 34 について、10 「時間外労働の削減と労働環境の整備の働きかけ」があるが、「労働時間の短縮」も入れたらいいと思う。
- 委員 問 12 について、ご自身の職業と配偶者の職業を尋ねられて、非正規の方については問 13 へ進むようになっているが、夫婦ともに非正規の方の場合もあるので、そういうケースも想定した方がいいと思う。
問 13 の非正規に就いた理由の選択肢の中で、正規の仕事の求人がなか

ったとか就職できなかったっていう社会情勢的な選択肢を入れられてはいいのではないかなと思う。

問 17 について「自分で育児に関わりたいから」という選択肢があってもいいのではないかなと思う。

委員 問 21 について、セクハラとマタハラのほかに、パワハラが入っていないのはなぜか。最近だとカスタマーハラスメント（カスハラ）という言葉もある。
問 22 の具体的な行為については、選択肢の 1 から 8 はほとんどセクハラについてなので、検討いただきたい。

事務局 こちらに関しては、次に DV の質問があるので、セクハラとかマタハラを選択肢として選んでおりました。委員のおっしゃる通りですので、検討させていただきます。

委員 この調査はペーパーで送って、返答してもらう形ですか。

事務局 ペーパーで送りまして、ペーパーまたは Web での回答を選ぶことができる形になります。

委員 問 1 の年齢について、前回の調査で年齢別の回答率はわかるか。選択肢として、70 歳以上をひとかたまりにした理由はあるか。

事務局 平成 28 年度に実施した市民意識調査によりますと、70 歳代の回答率は 24%でして、一番多い割合になっております。それも踏まえて質問項目を検討します。

委員 問 20 の選択肢 4、5 は古いので削除いただきたい。
また選択肢 1 に進路指導という言葉があるが少しきつい言い方であるので、キャリア教育という言葉を検討いただきたい。

会長 各委員から貴重なご意見をいただきましたので、次回の審議会で本日のご意見も参考にしながら、修正したものが提出されるかと思えます。その際に改めてご意見はお聞きしたいと思えますので、事務局で本日のご意見をまとめていただければと思えます。

3. 報告

(1) 令和7年度岐阜市男女共同参画優良事業者について

事務局 資料4-1、4-2、参考資料1、2（事務局説明）

会長 この2事業者に関しまして表彰の対象とさせていただきます。

4. その他

- ・「みんなにやさしく伝わる広報・出版のヒント」について
- ・優良事業者表彰式の開催について

会長 本日予定しておりました議題に関しましては以上になります。

【閉会】